

令和 6年 11月 25日

東員町議会総務建設常任委員会

委員長 南部 豊 様

東員町議会総務建設常任委員会

大谷 勝 治

研 修 報 告 書

研修期間	令和 6年 11月 12日（火）～11月 13日（木）【2日間】
研修（視察）先	1日目兵庫県丹波篠山市 2日目兵庫県川西市
目的（テーマ等）	1日目・災害時ケアプラン（避難のための個別支援計画）について 2日目・空き家対策について
参加議員名 （複数の場合）	総務建設常任委員会
資料添付の有無	有 ☐ ・ ☒ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

〔議員氏名：大 谷 勝 治 〕

研修概要、内容、所感

丹波篠山市の視察の受け入れ

令和6年11月12日（火）午後1時兵庫県丹波篠山市 市役所4階議員協議会室

出席者；丹波篠山市議会 副議長 向井千尋 保健福祉部 部長福西寿美子

長寿福祉課 課長松本ゆかり 高齢支援 係長小倉祐子

丹波篠山市の概要

□丹波篠山市の人口 39,147 人.世帯数 17,848 世帯.高齢化率 36,3%（6.10）

□262 自治会.19 まちづくり協議会（旧小学校区）.6 介護保険日常生活圏域.

視察内容

・災害時ケアプラン（避難のための個別支援計画）について

誰ひとり取り残さない

誰ひとり取り残されない防災

～個別避難計画作成の取組～

避難行動要支援者支援の仕組み

① 避難行動要支援者の把握（災害対策基本法における要配慮者）

② 避難行動要支援者名簿作成（市町の義務）

③ 災害時は②の名簿情報を避難支援等関係者（自主防災組織等）へ提供

③ 災害時は同意等の有無問わず名簿の提出（災害対策基本法第49条の11第2項）

平常時の個別避難計画と災害時ケアプラン

見守り台帳に登録

登録対象者

身体障害者手帳1・2級療育手帳A判定、精神障害者保健福祉手帳11級

介護保険要介護3・4・5認定者、その他支援の必要な人

見守り台帳の配布先

自治会長、民生委員、児童委員

災害時ケアプラン（個別避難計画）

ケアプラン作成には個人情報を提供する必要があるので同意書が必要

見守り台帳の課題

丹波篠山市では台帳の精度、個人情報の壁、関係者間の壁、などがあげられている。

・災害時のケアプラン作成には、お互い様の気遣いが求められる。

・福祉と防災の連携。

・災害時の必要な備え（非常持ち出しの袋に詰めよう）

避難支援方法の確認と練習実践が必要。

以上

研修概要、内容、所感

河西市の視察の受け入れ

令和6年11月12日（火）午後10時兵庫県川西市 市役所

出席者；川西市議会 議長 岡留美 市議会事務局 主査瀧下祐弥、成川飛吉

都市計画部 部長小野裕 住宅政策課 課長藤田勝彦、主査福丸健志郎

川西市の概要

□川西市は人口15万人昭和40年代大規模なニュータウンが開発され、ニュータウンが川西市の4割を占める、全国に先駆けて造成事業に関する指導要綱を施行、川西方式として全国に広がった。

視察内容

空き家対策について

空き家率は（R5年の速報値） 全国：13.8%兵庫県：11.8%川西市 11.8%

・各ニュータウンの空き家率10か所の内日生ニュータウンが最も新しいがR5年度調査ではR2.3と比較すると空き家が1.7%増えている。市への相談では草木等の対策が最も多く41.9%となっている。

・R6年3月の空き家対策・マンション管理適正化推進計画の策定では、空き家対策特措法マンション管理適正化法に基づきマンションの適正管理を含めた計画を策定。

・空き家対策ナビゲーター養成講座（H30、R2、R5）。

・空き家対策市民相談員の養成講座を実施している。

・NPO法人空き家相談センターと川西市が連携。

（空き家問題が解決できない相談者にアドバイスなどとプロへの橋渡し

ナビゲーター（市民相談員））

空き家マッチング制度

空き家対策ナビゲーター（市民相談員）から行政に行政から専門家団体（プロ）に

市民

・能動的に空き家を掘り起こす。

・地域の空き家調査とデイターベース化。

空き家調査アプリ空き家し問うらべーたーR3年6月議会で予算化

行政

・課税、水道閉栓等を基に所有者にアプローチ。

プロ

・流通対策会議プロの知見を問題解決にいかす。

・民間では放置される（儲からない）問題に官民で取組

以上